

第7次宮城県地域医療計画（小児医療）の進捗状況

施策の方向	対応する主な取組（H30）	今後の課題
1 小児医療提供体制の充実	1 小児医療提供体制の充実	1 小児医療提供体制の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○小児医療資源の集約的配置による、良質で持続可能な小児医療体制の構築 ○こどもの状態に応じた適切な医療機関の受診の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児医療協議会の開催（第7次計画の進行管理） ○県立こども病院への支援（運営費支援、評価委員会開催等） ○東北大学からの医師派遣（疲弊防止、適正配置） 	<ul style="list-style-type: none"> ○小児科医師の負担軽減 ○地域の拠点となる小児医療機関とかかりつけ医との連携
2 小児救急医療体制の整備	2 小児救急医療体制の整備	2 小児救急医療体制の整備
<ul style="list-style-type: none"> ○平日夜間・休日の小児救急医療提供体制の整備 ○「宮城県こども夜間安心コール」や「こどもの救急ホームページ」などの情報を提供し、救急医療機関への適切な受診を啓発 ○医療機能の集約化を推進により、持続可能で良質な医療を効率的・効果的に提供 ○災害時小児周産期リエゾンを育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○東北大学病院から急患センターや地域小児科センターへの医師派遣（時間外診療）【資料3】 ○被災地小児医師派遣（全国から診療支援の受入）【資料4】 ○輪番制による休日等の診療補助（仙台市） ○夜間安心コールの啓発（シール作成等）【資料3】 ○災害時小児周産期リエゾン研修への参加、在り方の検討【資料5】 	<ul style="list-style-type: none"> ○夜間安心コール（特に利用が少ない地域）の啓発 ○災害時における小児医療体制の整備
3 小児科医師の確保・定着	3 小児科医師の確保・定着	3 小児科医師の確保・定着
<ul style="list-style-type: none"> ○小児・新生児医療を担う小児科専門医の育成と効率的な配置 ○小児科医師のキャリア形成を支援し、県内への定着を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 再掲東北大学からの医師派遣（疲弊防止、適正配置） ○プログラム inMIYAGI による小児科医の育成（東北大学） ○ウェルカム奨励金による県外医師の確保 ○医学生への修学資金貸し付け ○新生児科指導医の養成【資料3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の状況に応じた医療機関相互の連携や多職種連携の体制構築に向けた継続的な支援が必要
4 発達障害を持つ小児への支援	4 発達障害を持つ小児への支援	4 発達障害を持つ小児への支援
<ul style="list-style-type: none"> ○発達障害について専門的な知識を持つ医療従事者の育成と診療・支援施設への適正な配置 ○各種相談窓口と連携し、適切な受診につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ○発達障害者支援センターの運営 ○発達障害者支援体制整備検討会の開催 ○発達障害専門医療機関ネットワーク構築事業【資料3】 ○かかりつけ医等発達障害対応力向上研修【資料6】 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健部門、福祉部門、教育部門が連携し、本人の自立や社会参加を支援するための連携体制の構築
5 在宅医療体制の整備	5 在宅医療体制の整備	5 在宅医療体制の整備
<ul style="list-style-type: none"> ○医療依存度の高い子どもに対応できる医師、訪問看護師を育成・支援 ○介護職員がたんの吸引等を行うための研修を実施 ○医療・福祉資源の開発や育成、医療型短期入所の拡充、有用な情報の集約・発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療型短期入所モデル事業【資料7】 ○医療的ケア児等コーディネーター配置事業【資料7】 ○巡回指導医・指導看護師の派遣（特別支援教育課） 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・保健・福祉・教育の各部門の連携による小児在宅医療体制の整備 ○在宅医療を担う医療従事者の育成